

IBM SPSS コミュータライセンスを取得する方法

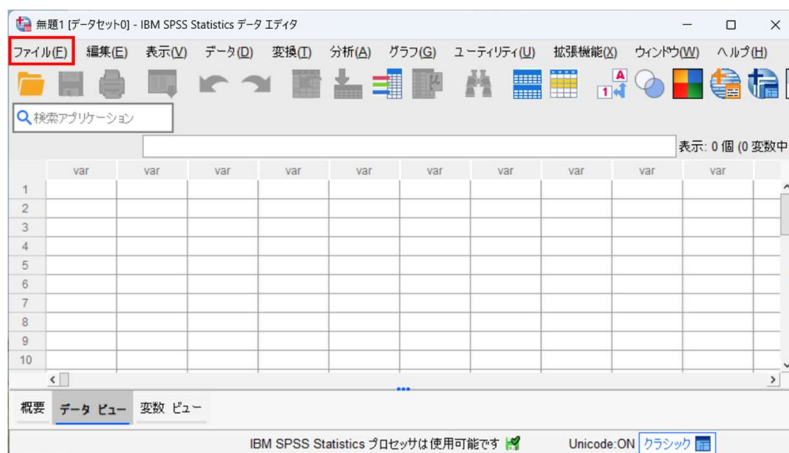
SPSS は起動時に学内ライセンスサーバと通信します。

学外では、学内ライセンスサーバと通信できないため SPSS は起動しません。事前に学内ネットワークでライセンスサーバからコンピュータライセンス(一時利用ライセンス)を取得しておくことで、学外でも SPSS を利用することができます。

※コンピュータライセンスの利用が終わったら、必ずライセンスの返却手続き(チェックイン)をして下さい。
チェックインしなかった場合、SPSS Statistics は停止します。

【ライセンスのチェックアウト】

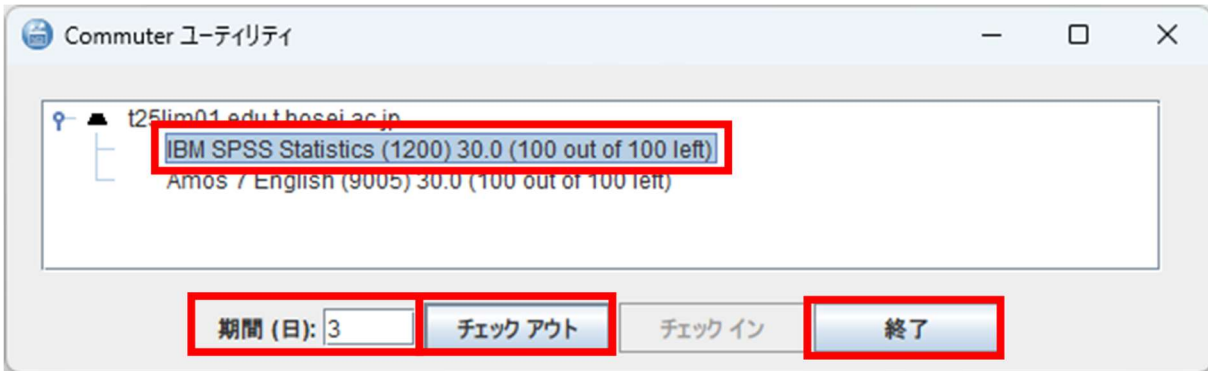
1. 学内ネットワーク(学内無線 LAN など)に接続します。
2. 「IBM SPSS Statistics」を起動します。
3. 「ファイル(F)」をクリックします



4. [ライセンスの管理(N)]をクリックします。
5. [Commuter ユーティリティ ツールの起動]をクリックします。

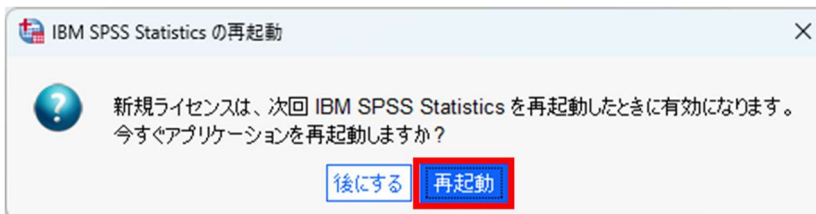


6. 「IBM SPSS Statistics (1200) 30.0 (XXX out of YYY left)」を選択します。「期間」にライセンスをチェックアウトしておく日数(最大7日)を入力して、[チェックアウト]をクリック、その後、[終了]をクリックします。



※「期間」で入力した日数を過ぎると、コンピュータライセンスの有効期限が切れます。
また、このライセンスについては、手動操作でいつでもチェックイン状態に戻すことができます。

7. 「IBM SPSS Statistics の再起動」画面が表示されたら[再起動]をクリックします



【ライセンスのチェックイン】

1. 学内ネットワーク(学内無線 LAN など)に接続します。
2. 【ライセンスのチェックアウト】手順を参照し「Commuter ユーティリティ」を起動します。
3. チェックインするライセンスを選択して、[チェックイン]をクリックします。
(※チェックアウトしたライセンスにはチェックマークが表示されています。)

